

短期予報解説資料 2025年11月2日15時40分発表

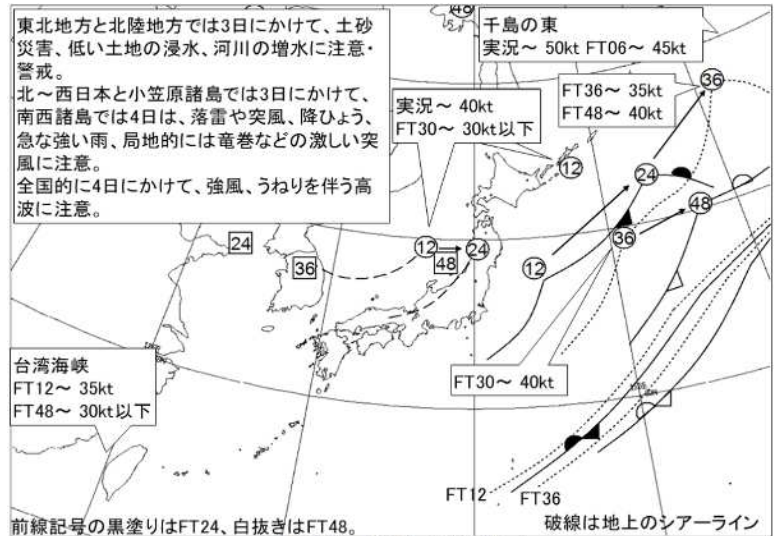
気象庁

1. 実況上の着目点

① 千島の東を東北東進する発達した低気圧から、前線が小笠原近海にのびている。低気圧からのうねりの影響で北海道のオホーツク海側ではしけている。

② 北海道付近を東北東進する低気圧の影響で、北海道地方では1時間に5mm前後の雨を解析、山地では3時間で3cm前後の降雪を解析。また、強い風が吹き、波が高くなっている所がある。

③ 500hPa 5400m付近で-30℃以下の寒気を伴うトラフに対応して日本海を東進する低気圧の周辺では、活発に発達、強い雨を解析。山形県付近でメソサイクロンを検出。東～西日本ではやや強い風や強い風が吹き、波が高くなっている所がある。



2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 3日にかけて1項①の低気圧はアリューシャン近海へ進み前線は小笠原近海をゆっくり東進。小笠原諸島では前線に向かう下層暖湿気により大気の状態が不安定となる。落雷、突風、急な強い雨に注意。

② 1項③のトラフは深まりながら、2日は日本海に南下。3日は西日本日本海側から北～東日本を通過する。このトラフの通過に伴い北～西日本の上空には500hPaで平年差-5～-10℃の強い寒気が流れ込む。

③ 1項②の低気圧は、3日朝にかけて千島近海に進み不明瞭になる。1項③の低気圧は、3日朝にかけて東北日本海側に進んでその後不明瞭になり、低気圧からのびるシアーラインが北～西日本を通過する。また、2日夜までに日本の東で発生する低気圧が、3日にかけて発達しながら千島の東に進み、日本付近は3日は、大陸の高気圧との間で一時的に西高東低の気圧配置となる。

④ 4日は、朝鮮半島付近から日本の東に移動する高気圧が日本付近を覆うが、500hPa 5820m付近の正渦度極大域に対応して前線が華南～南西諸島付近にのびる。前線の影響で、南西諸島では4日は、落雷、突風、急な強い雨に注意。

⑤ 3日にかけて、2項②の上空寒気や2項③の低気圧やシアーラインの影響で、北～西日本では大気の状態が非常に不安定となる所がある。落雷、竜巻などの激しい突風、降ひょう、急な強い雨に注意。また、東北～北陸地方では、これまでの雨の影響で地盤の緩んでいる所があり、雷を伴い激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。

⑥ 2項③の気圧配置と2項①③④の低気圧や前線、シアーラインの周辺及び2項④の高気圧の南縁では気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、うねりを伴い波が高くなりしける所がある。全国的に4日にかけて、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時から24時間)：北陸100mm。② 波浪(明日まで)：北海道・東北・北陸・近畿・中国4、その他広い範囲で3m。③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。東～西日本で注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」を17時頃発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。